

景気動向調査 令和6年1月分（令和6年1月末現在）

大分県中小企業団体中央会では、県内中小企業の現況、課題を迅速にとらえ、これらの情報を行政等へ提供するとともに、本会事業の活用に資することを目的に、中小企業団体情報連絡員事業を実施しています。

この事業では、県内の主要業種46組合に「情報連絡員」を設置し、毎月の景況調査報告(前年同月比)を収集しています。

【1月の景況】

1月のDIは、9指標のうち、4指標が好転、3指標が悪化、2指標が変わらずという結果となった。主要3指標をみると、先月と比較して、売上高DIは2ポイント減少しているが、収益状況 DI は6ポイント好転、景況感 DI は変わらずという状況となっている。

なお、販売価格 DI は+30ポイントと、依然として高い水準を維持している。



景況感 DI 値

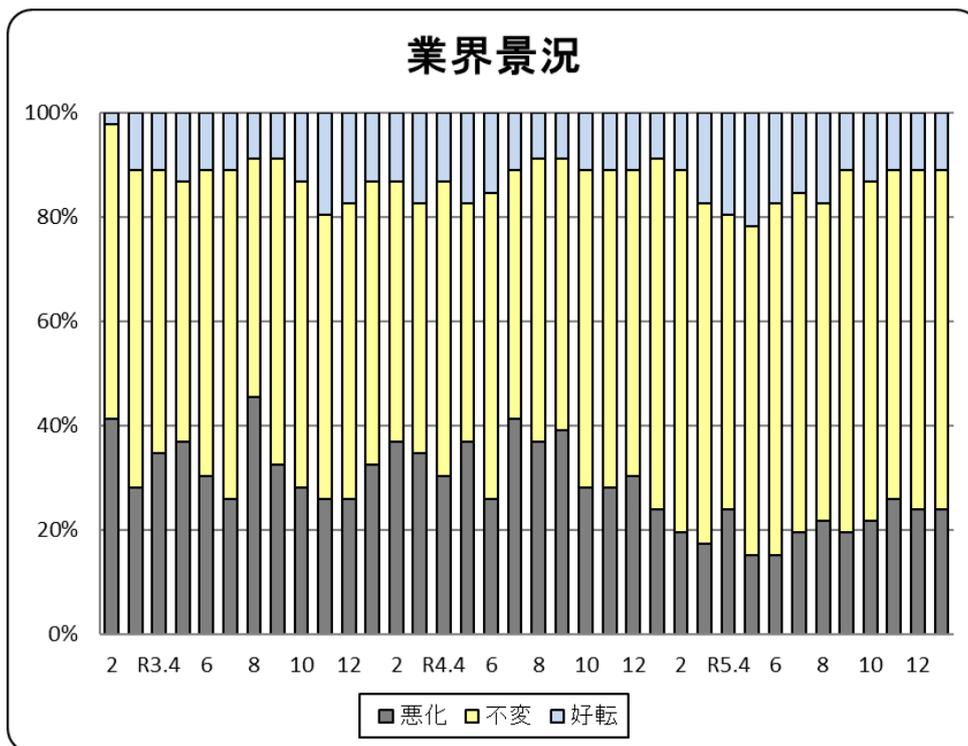


参考：日本銀行「企業短期経済観測調査」（大分支店調査分）

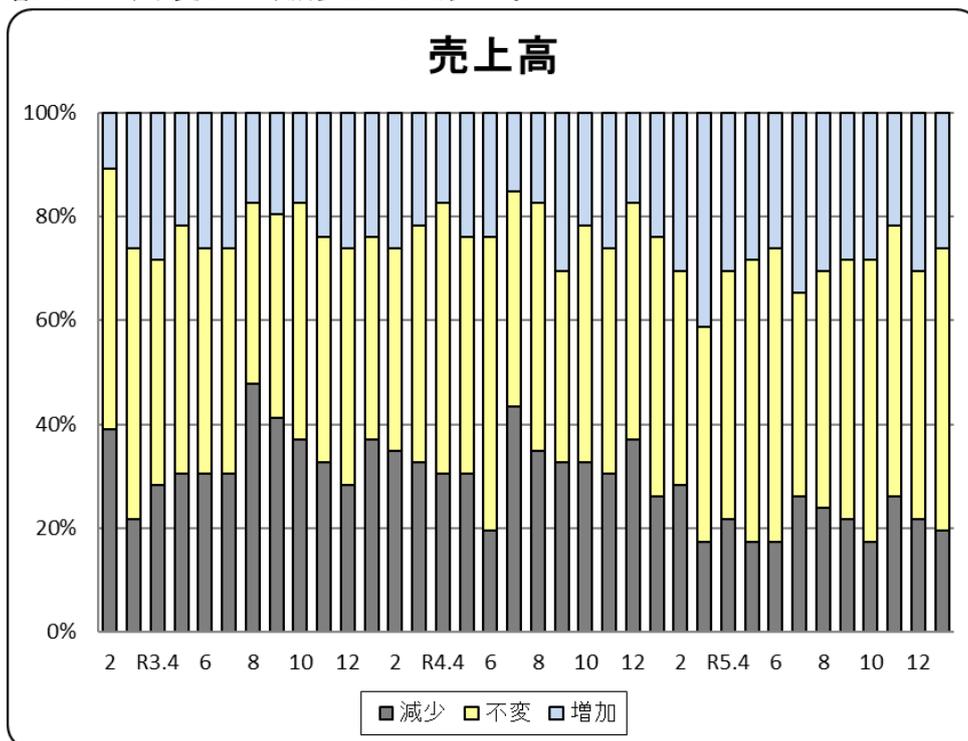
【主な調査項目での動向】

主要な調査項目を見ていくと、景況感DIは、 $\Delta 13$. 0ポイントで前月と変わらず。売上高DI値は、+7ポイントで前月より2ポイント減少。収益状況DI値は、 $\Delta 7$ ポイントで前月から6ポイント好転。雇用人員DI値は、 $\Delta 15$ ポイントで前月と変わらずという結果となった。

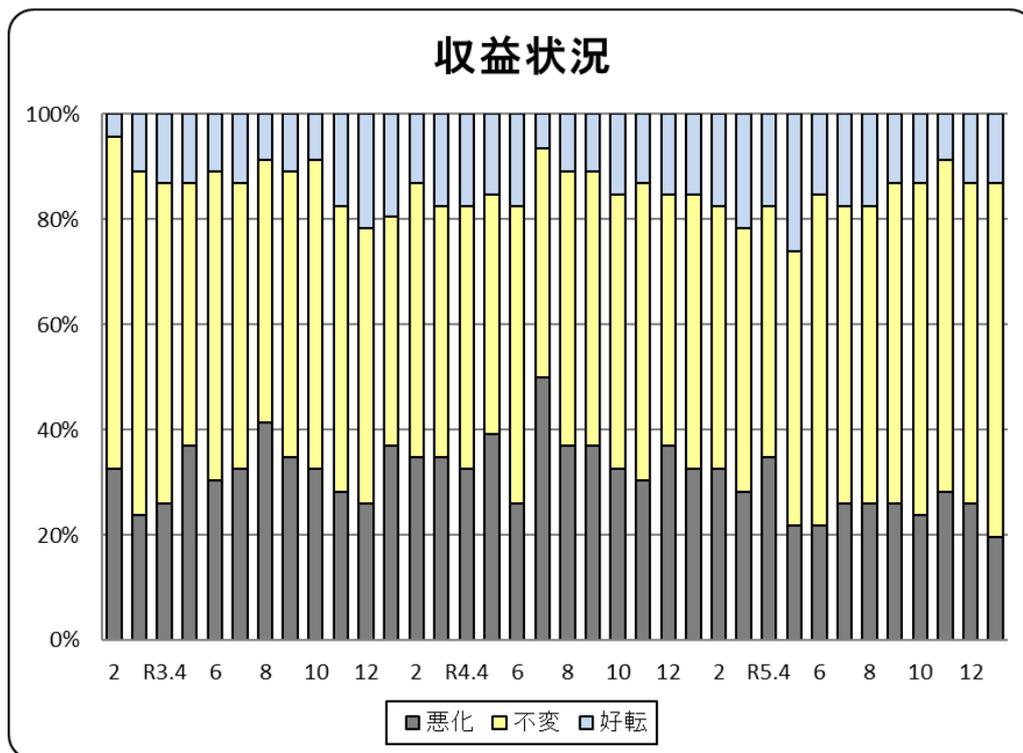
景況の動向は、好転は5組合、悪化は11組合であった。DI値は $\Delta 13$. 0ポイントで前月と変わらず。割合で見ると、好転11%、不変65%、悪化24%であった。なお、製造業の景況感DI値は $\Delta 6$ ポイント、非製造業の景況感DI値は $\Delta 17$ ポイントであった。



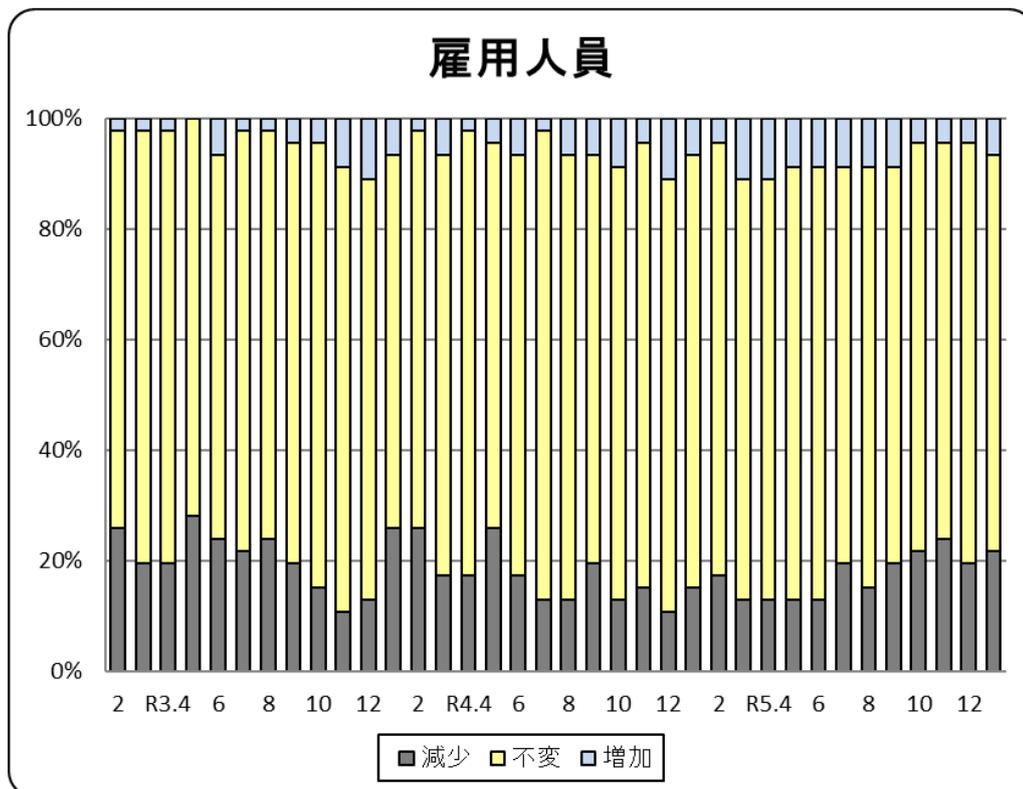
売上高の動向は、増加は12組合、減少は9組合であり、DI値は+7ポイントで前月から2ポイント減少。割合で見ると、増加26%、不変54%、減少20%であった。



収益状況の動向は、好転した組合は6組合、悪化と回答した組合は9組合であった。DI値は△7ポイントで前月から6ポイント好転。割合で見ると、好転13%、不変67%、悪化20%であった。



雇用人員の動向は、増加は3組合、減少は10組合であった。DI値は△15ポイントと先月と変わらず。割合で見ると、増加7%、不変72%、減少21%であった。なお、製造業の雇用人員 DI 値は△24ポイント、非製造業の雇用人員 DI 値は△10ポイントであった。



(集計方法)

※DI 値(前年同月比)=[(増加・好転組合数－減少・悪化組合数)／調査対象組合]×100

(業界の景況についての項目を「好転」割合から「悪化」割合を引いた値をもとに作成します。)

※小数点以下四捨五入

主要3指標の前年同月比DI推移【大分県】

